

菊池学園 だより

第46号
令和4年度第9号
2022年
11月11日



園訪問・取材特集号

ほめ言葉のシャワーで、ほめる習慣が付き、言葉がけがかわった



ちゃんと箱を直して
いました。

神谷保育園4・5歳児クラスの
ほめ言葉のシャワー取材して
きました。

写真

右の子どもが本日の主人公。
主人公は、台に立ってニコニコ
うれしそうです。
ほめ言葉を伝える子どもも笑顔
です。



ハイ!
言いたいな!!



ちゃんとお片づけ
をしてました。



ピアノが上手
でした。



トリックオアトリートと大
きな声で言っていました。



ピアノを大切に
扱っていました。



主人公が立つ台やほめ言葉
を言う子ども用のマイクを準備
して、特別感を演出しています。

ほめ言葉のシャワーの時間を大切にしていることが分かりますね。

担任の三浦那菜先生にインタビューしました！

Q. 神谷保育園では、どのようにほめ言葉のシャワーに取り組んでいますか。

A. 3歳児は、帰りの会で「自分が楽しかったこと」などを発表して、自分の気持ちを言葉にしたり人前で話したりすることに慣れるようにしています。
4・5歳児から、友達のステキなところ、頑張っていたところを伝える、ほめ言葉のシャワーをしています。



Q. 大変だったことはありますか。

A. ほめ言葉のシャワーをやり始めの頃は、なかなか言葉がでないこともあり時間がかかりました。「歯みがきしていた」と事実だけを伝えた子に、私が「どうやって磨いていたの?」と質問すると、「ピカピカにしよう!」とほめ言葉がプラスされました。習慣化するまでは大変でした。

Q. この取組をすることで、先生ご自身の変容や子どもたちの成長を感じることはありますか。

A. 私は、子どもへの言葉けが変わってきました。具体的に子どもの素敵などを周りの子どもに伝え、共有するようになりました。そうすることで、子どもの意欲に繋がったり、子ども同士日常的に友達の素敵などに気付き言葉にして、頑張りを自然に認め合ったりするようになってきました。また、発表することに対して、だんだんと大きな声で言えるようになり、自信を持つようになりました。5歳児は、他の子どもとほめ言葉が同じにならないように考えたり、工夫したりして言えるようになってきました。

保護者への取組

4・5歳児はきらきらタイムのほめ言葉をクラスだよりで、月毎にまとめて紹介しています。

園児全員のステキなところ、頑張っているところを先生からのほめ言葉で紹介し、掲示したり配布したりしています。



子どもの頑張りをお便りや掲示物で紹介することで、家庭でもほめられることが多くなるとともに友達のことも話題になっています。登降園時に保護者が自分の子ども以外の子どもにもほめ言葉をかけて、保護者同士もつながるきっかけになっています。

今回、取材をさせていただいた神谷保育園だけではなく、町内の保育園、幼稚園、認定こども園では、保育者があらゆる場面で子どもの頑張りや良さを見つけて、ほめ言葉をシャワーのようにかけています。三浦先生のインタビューにもありましたが、まずは、大人がほめて、認めて、励ますことがスタートだと、改めて感じました。

(菊池学園担当)